

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

【メッセージ】「イエスとは何者か」

何を信じるか(=何を信じないか)ということは一人一人が自分で決めるべき事です。その自由が保障されてこそ「信じる」ことは尊いのです。旧統一教会の問題が社会で大きく取り上げられています。彼らの教理である「統一原理」という教えの結論は信者達が自分の心の自由を自らの意志で放棄して統一教会の活動に絶対服従することを求めています。つまり彼らの活動は個人の「信教の自由・内心の自由」を侵害することによってなされているということです。こういった問題は宗教に限らず会社でも学校でも家庭でも、身近な友人関係の中でさえ起こります。自分で考えて判断することは恐いことですが、だからこそ謙虚に周りの声に耳を傾けながら、最終的には自分で考えて判断する力を身につけていただきたいと願っています。

【講師の紹介】日向恭司先生

札幌で大学時代に統一教会に入信して2年間活動。統一教会脱会後に日本キリスト教団十二使徒教会で受洗し、統一教会信者に脱会を勧める活動に力を注ぐ。大学卒業後は教会の事務、会堂管理、教会が経営する喫茶店業務に従事しながら独学で試験を受けて牧師となる。十二使徒教会、手稲はこぶね教会(現札幌手稲教会)を経て、2010年より北海教区幹事として道内の教会の巡回等に従事。2018年名寄教会に赴任し現在に至る。平日は名寄幼稚園園長として勤務。58歳。趣味は陶芸・DIY・アニメ・キャンプ・カラオケ・珈琲。

【キリスト教教育強調週間】

キリスト教主義大学はキリスト教を基礎に置いて教育に当たっており、どのキリスト教主義大学でも年に数回にわたって強調週間を設けて、学生と教職員が教育の根幹にあるキリスト教教育について見つめ直す機会を設けています。本学ではキリスト教の宗教的・社会的・文化的な多様性を広がりからのアプローチを心がけ、春と秋に強調週間を実施しています。

今回の強調週間で取り上げたカルト宗教に関して心配なことなどがありましたら、宗教主任の小林昭博先生や学生支援課に相談してください。

【次回の大学礼拝】2022年11月1日(火)10時40分

聖書：ヨハネによる福音書1章11-13節

奨励：「信頼・自信・過信」小林昭博先生(宗教主任)

【大学礼拝週報】2022年度第20号(後学期第5号)

2022年10月25日(火)午前10時40分

リモート礼拝(酪農学園大学 黒澤記念講堂)

【2022年度秋期キリスト教教育強調週間】

《大学礼拝》

〈礼拝動画の配信〉

司式 小林昭博(宗教主任)

前奏

讃美歌 讃美歌21 394番(信仰うけつぎ)

祈り

聖書 マルコによる福音書8章27~30節

主題 「イエスとは何者か——『思想及び良心の自由』

をめぐってキリスト教について考える」

日向恭司先生(名寄教会牧師)

祈り

讃美歌 讃美歌21 520番(真実に清く生きたい)

報告

後奏

【本日の聖書】マルコによる福音書8章27~30節

27 イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。28 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」29 そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」30 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。